

令和 8 年度 学力向上全体計画

学校名	墨田区立東吾婦小学校
校長名	藤村 雅彦

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
・国語は、全学年で全国平均を上回った。特に、「書く」は、全学年が目標値を超えた。 ・学年ごとの各教科での正答率は、17 教科中 13 教科が全国値を上回った。 ・前年度と比べ、E 層が減少し、A 層が増加した。	・理科は、6 観点中 3 観点が目標値を超え、3 観点は下回った。特に知識・技能が課題。 ・前年度と比べ、B・C 層が減少し、D 層が増加した。 ・B 層と D 層を二つの山とする二極化傾向がみられる。

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
・対話的な学びの定着 「グループで話し合うことが楽しい」の質問に対して、全ての学年で全国平均を上回る結果であった。児童は話し合い活動に意欲的に取り組んでおり、対話的な学びが定着している。 ・学習内容の定着に向けた振り返りの実施 「テストのやり直し」に関する質問では、多くの学年で全国平均を上回る結果であった。誤答をそのままにせず、振り返る習慣が身に付いている。一方で、学年が上がるにつれて肯定的な回答の割合が低下する傾向も見られる。	・読書習慣の定着 学年が上がるにつれて読書量が減少し、高学年では全国平均を下回る傾向がある。継続的な読書習慣の育成が課題である。 ・家庭学習（予習・復習）の習慣化 予習・復習に関する項目で、学年が上がるにつれて肯定的な回答の割合が低下する傾向が見られた。家庭と連携して自主的な学習習慣の定着を図る必要がある。 ・主体的な課題解決力の向上 「不思議だと思ったことを調べる」などの項目では、「だいたい調べている」などの中間層の割合が高い。自ら課題を見付け、解決していく経験を積み重ねることで、主体的に学ぶ力をさらに育成していく必要がある。

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
・学校の特色である、6 年生がトップリーダー、5 年生がサブリーダーとして活動し、下級生の良き手本となっている。 ・学校生活や行事を通して、振り返りや感想を書く機会を設け、年間を通して実践している。	・個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指す授業改善を継続していく必要がある。 ・開校 70 周年を迎え、「もっと知りたい、東吾婦！」の学習を校内研究で取り組み、授業力の向上を目指していく必要がある。

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 学校全体での組織的取組

- ・令和 7 年度学力向上プランの学年取組成果をもとに、今年度の学年取組の作成に活かす。
- ① 1 年生 → 友達の発表のよさに注目できるよう、教師がその都度適切な補足を加えて価値付けをする。
- ② 2 年生 → 文章問題の課題をふり返しシートやミライシートを活用し、家庭学習や朝学習で繰り返し学習する。
- ③ 3 年生 → 家庭学習として週に 1 回、自主学習を取り入れる。D・E 層の児童には復習を中心に取り組めるよう、担任から助言する。
- ④ 4 年生 → 単元のまとめや朝学習の中でふり返しシートや問題データベース、学力調査問題等に繰り返し取り組むことで、様々な問題の出題形式に慣れ親しみ、問題文の内容を理解できるようにする。
- ⑤ 5 年生 → 国語科や社会科の授業において、資料の読み取りを丁寧に行い、そこから考えたことをアウトプットする時間を設定する。
- ⑥ 6 年生 → 理科の実験や社会科の歴史年表づくりなど、体験的な活動をより充実させることで基礎基本の定着を図る。
- ・学力向上委員会の提案を中心に、全教員が学力の向上のために共通理解・共通実践する。

(2) 教員の授業力・指導力向上

- ・笑顔で登校し、満ち足りた気持ちで家路につく学校づくりを目指し、1 時間 1 時間の授業実践の充実とその時間内での確かな学力の向上に努める。
- ・校内研究や研究授業、授業観察、学年会、自主研修会等の OJT を通して、教員が互いに学び合い、授業力・指導力の向上を図る。
- ・区小研や各種研修会で得た学びを校内に還元し、よい実践を共有しながら、教職員全員で専門性と実践力を高めていく。

(3) 保護者や地域・外部団体と連携して充実した取組を行う。

- ・保護者や地域、外部団体と連携したこれまでの教育活動を継続し、より充実させて生活や社会に根ざした実践的な学びを自分事となるように推進していく。
- ・本校の児童の課題とその改善策について、「学校で取り組むこと」、「家庭学習等の家庭・地域で取り組んでいただきたいこと」を伝え、学校と保護者・地域とが連携して学力向上を図る。
- ・「生活リズムチェック」等の望ましい生活習慣を継続する実践を家庭と連携することで、児童の生活の安定と学習環境の維持・向上を図る。

3 「令和 9 年度 墨田区学習状況調査」の目標

- ・DE 層の割合を減少。
- ・ABC 層の割合の増加。
- ・理科の学力のさらなる向上。